

人材育成、産学連携、ロボット性能評価 に係るシンポジウム ～人材育成講座のキックオフ～ 開 催 案 内

日 時 : 平成31年1月17日(木) 14時～17時 (受付開始: 13時30分)
 場 所 : 福島県南相馬市 市民情報交流センター マルチメディアホール (JR原ノ町駅前)
 福島県南相馬市原町区旭町二丁目7番地の1
https://www.city.minamisoma.lg.jp/portal/culture/shiminjohokoryusenta_/4232.html
 主 催 : 一般財団法人製造科学技術センター
 定 員 : 100名
 参加費 : 無 料
 申込締切: 平成31年1月15日(火) (当日受付も可)
 参加者には、受付票を後日メール等でお送り致します。
 当日受付の方は、名刺を必ご持参ください。

1. はじめに

物流やインフラ点検、大規模災害などに対応する陸・海・空のロボット開発の一大拠点として、福島県南相馬市・浪江町に「福島ロボットテストフィールド (RTF)」が整備されています。2020年に、福島RTF全ての施設が開所見込みです。

この福島RTFで、フィールドロボットの性能評価を行えるよう、経済産業省と国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) が、その性能評価手法を策定しました。

今回、「ロボット性能評価手法」、「RTFの現状」などに加え、2001年9月11日に発生した米国同時多発テロ事件の現場経験を踏まえた基調講演等を交えた本シンポジウムを開催します。

2. 概要

平成30年度から開始する、「NEDOプロジェクトを核とした人材育成、産学連携等の総合的展開／ロボット性能評価手法に係る特別講座」のキックオフとして、当該人材講座の概要説明や人材教育をけん引する講師陣の紹介を行います。特に、当該「ロボット性能評価手法」に興味を持たれて福島RTFを活用しようとする方々向けに本プロジェクトの概要を説明します。なお基調講演では、ロサンゼルス消防職員から「9.11米国同時多発テロ事件」の現場体験、ニーズ、Standard Test Method (STM) 等を紹介頂きます。また、本事業で行う人材育成の取り組み等についても報告します。



プログラム

- 13:30 受付開始
- 14:00 開会
- 14:00～14:10 関係者ご挨拶 福島県、南相馬市
- 14:10～14:50 **【基調講演】**『Robotic Technologies Improving Situation Recognition
in Disaster Response』 (ロサンゼルス消防職員：Tom Haus 氏)
- 14:50～15:10 挨拶・プロジェクト概要報告 (NEDO)
技術委員会委員長 木村哲也 (長岡技科大)
ロボット・AI部 主査/PM 宮本和彦
- 15:10～15:20 休憩
- 15:20～15:40 福島県ロボットテストフィールドの現状
福島県商工労働部ロボット産業推進室
室長 北島 明文
- 15:40～16:00 本事業の紹介及び受講者募集(目的、概略内容、各主任講師等紹介等)
一般財団法人製造科学技術センター
- 16:00～16:45 3分野座学概要紹介
無人航空機を活用した橋梁点検分野に係る講座
会津大学 中村 啓太
ロボットを活用したダム及び河川点検分野に係る講座
国立研究開発法人海洋研究開発機構 眞砂 英樹
ロボットを活用したトンネル及びプラント災害調査分野に係る講座
名古屋工業大学 佐藤 徳孝
- 16:45～17:00 今後のスケジュール等案内 (MSTC)
一般財団法人製造科学技術センター
- 17:00 閉会
- 17:00～18:00 地元企業とのマッチングイベント (コヒーフレイク クラフトルーム)
(シポジウム内での質疑応答や人事育成等交流会)
注) プログラムは諸般の事由で一部変更になる可能性があります。

参考資料：各分野ロボット性能評価手順書監修 経済産業省 (METI)、国立研究開発法人研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)
<http://www.meti.go.jp/press/2018/05/20180530001/20180530001.html>

(申込、問合せ先)

一般財団法人製造科学技術センター 藤井、間野 (rpe@mstc.or.jp)
〒105-0004 東京都港区新橋3-4-10 新橋企画ビルディング4階
TEL: 03-3500-4891 FAX: 03-3500-4895
ホームページアドレス: <http://www.mstc.or.jp>